

2015.4



シルバー こうべ

神戸市シルバー人材センター
Kobe City Silver Human Resources Center

編集発行：(公財) 神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 (サンパル10階)
●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066
●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181
●西部センター／621-6880 ●本部／252-0316
電話番号はおかけ間違いのないようにお願いします
ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

配分金支払日のお知らせ

4月分 5/19 (火)	5月分 6/15 (月)	6月分 7/15 (水)	7月分 8/17 (月)	8月分 9/15 (火)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

社会貢献塾2015 ～第4期～

平成27年5月8日より 受講生募集開始!
～自分たちで事業を立ち上げましょう!!～



講座の特徴

- ①座学だけでなく、地域の仕事の現場体験もあります
- ②地域の仕事や活動を紹介する個別相談を行います
- ③修了生との交流もあり、講座を通じて楽しい仲間と出会えます

プログラム	日 程 ※		内 容
前期 (スタディゼミ)	(全5回)	6月17日・24日 7月1日・8日・15日	社会貢献活動(外国人支援、障がい者支援、高齢者・生活支援、地域ボランティア、案内ボランティア等)について、現場で精力的に活躍する方々を講師に迎え、座学で学びます。
後期 (インターゼミ)	(全5回)	8月5日・19日および 8月下旬～9月8日のうち2日間 9月9日	ワークショップ、視察バスツアー、地域調査、個別相談等を予定しています。現場で活躍している様子を見て、臨場感を味わってみませんか。

※講座時間は13:30～16:30を予定していますが、視察や地域調査・個別相談等、時間が変則的になる場合があります。

- ◆場 所 神戸市勤労会館 4階405講習室 (神戸市中央区雲井通5-1-2) 他
- ◆受 講 料 10,000円(前期・後期合わせて) ※視察バスツアー 要実費2,000円 いずれも消費税込
- ◆定 員 先着30人
- ◆申込方法 電話・FAX・Eメール・郵送で5月8日から先着順受付。FAX・Eメール・郵送の場合は〒・住所・名前(ふりがな)・年齢・電話番号及び「社会貢献塾2015申込」と明記のうえ、下記までお送りください。

受講費用 の補助

全10日間を受講して申請をした方には
シルバー人材センターが総受講費用の3分の1に相当する額を補助します。
※受講申込時に「シルバー人材センター会員である」旨お知らせください。
補助の対象は、開催日6月17日時点で神戸市シルバー人材センター会員であることが条件です。

●お問合せ・お申込み先

(公財) 神戸いきいき勤労財団 生涯現役支援課

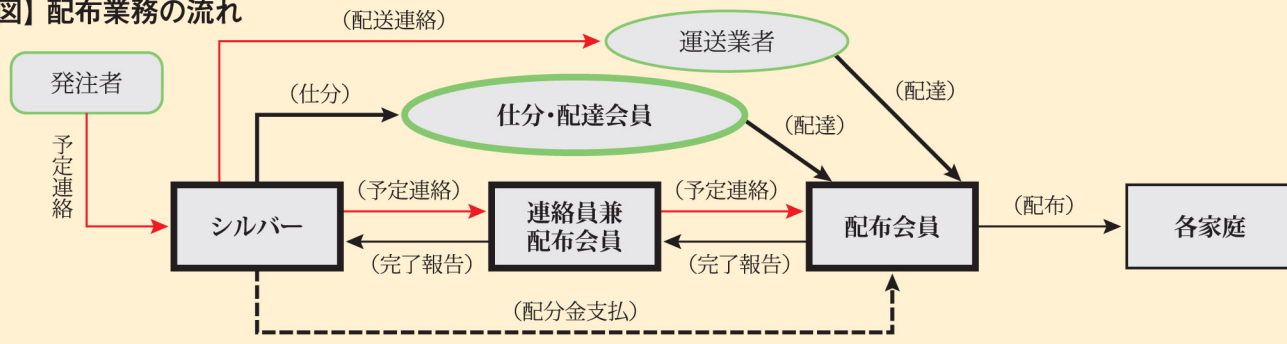
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル10階
Tel.078-251-5561 FAX078-252-9448 メールinfo-kobe-lp@kobe-kinrou.jp

職場リポート
西部センター

配布会員 大切な配布物を確実にお届け

神戸市シルバー人材センターが広報紙などの配布の仕事初めて受けましたのは、平成12年12月号の神戸市広報紙からです。今年で15年目を迎えます。現在、毎月定例的な配布物（広報KOBEなど）や年1、2回といったスポット的な配布物（いきいき講座案内など）を種々、決められた期間内に配布会員の皆さんによって配布していただいています。配布物により配布地域が異なりますので、配布会員の人数も変わります。県民だよりの場合、配布会員180人（うち連絡員19人）で配布しています。

【図】 配布業務の流れ



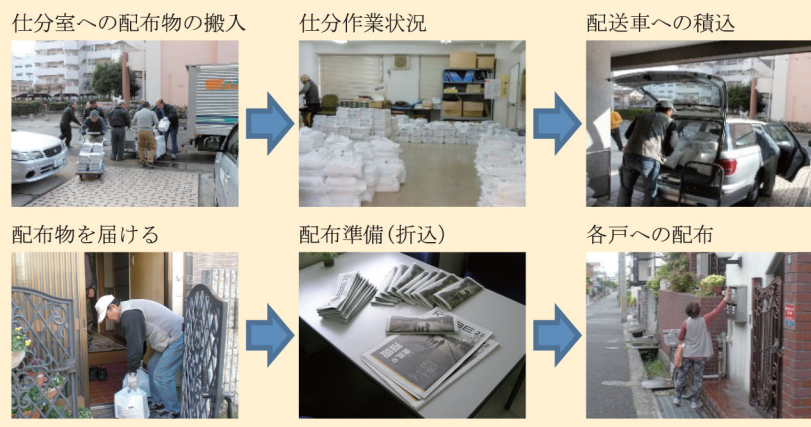
この配布は、配布担当コーディネーター（以下「担当者」という）と連絡員（配布会員を兼ねる）や配布会員の皆さんとの連携プレイで成り立っています。担当者の役割は、配布会員が滞滞なく円滑に配布できるよう段取りをつけることです。配布会員には、運送業者経由の配布物（広報KOBEなど）と、センターに届いた配布物を仕分けして届ける配達会員経由の配布物（いきいき講座案内など）が届きます。配布会員は、配布物が届く前に連絡事項が連絡員を通して入りますので、その内容にもとづいて期限内に配布し、配布を全て終了した後、その結果を連絡員に連絡して一連の配布作業は終了します。

ところで、配布は配布地域またはその周辺の方をお願いしています。ある程度土地鑑がないと効率よく配布することは難しいからです。そのため、配布は継続して取り組んでいただいています。継続して配布していた会員が事情あって配布を辞退されたときは、上述の会員の中からお声掛けし配布してもらおう手配をしています。ところが、手配が直ちに出来ない場合があります。そのときは、まず連絡員を通じて応援を頼みます。

配布は、広報紙の配布が大きな柱になっています。配布会員が満遍なく広報紙を戸別に配布することは、行政と住民をつなげるという大きな役割を果しています。ですが配布は、地道な仕事です。傍目で見ると楽ではありません。タブロイド判の広報紙が配布会員の自宅に届くと、ポストにスムーズに入るよう、かつ運びやすいよう事前に折り込み作業をしていただいています。特に広報紙特集版で分厚い発行のときは重量も増すため、折り込みも配布も大変な作業となります。また起伏のある地域では路地を何度も往來しながら配布する。戸建住宅でポストが門扉のところなく高い階段を上った玄関先にある場合、階段の上り下りを何度もすることもあります。そのほかチラシ配布のとき、たまに「もって帰れ！」という人がいます。その場合、「持って帰りますね」といって逆らわないことだといいます。このように辛いときもありますが、住民の方が「お疲れさん！」と声を掛けてくれることが一番うれしいといいます。

配布に際し配布会員の皆さんには、寒いときも暑さ厳しいときも、そしてときには体調が万全でないときもあります。それでも皆さんは、決められた期間内に確実に各家庭に配布をするという責任感と使命感をもって就業していただいています。これからも配布会員の皆さんと担当者との信頼関係を築きながら、配布が円滑に進められるよう取り組んでいきます。

【写真】 配布業務の流れ



人生遊歩
西区センター

趣味と実益は仲間とともに

和布の小物づくりに生きがい

斉藤 美恵子さん

西区センターの女性シルバー会員で作っている趣味の会に「WAFU de 小物」グループがあります。タンスの奥にしまったまま不要になった和服を会員から提供してもらい、その布切れでポーチやバッグなどを作って販売をしようという元気な女性会員の集まりです。斉藤さんはグループ設立の中心メンバー。小物づくりとシルバーの就業を両立させながらがんばる斉藤さんに密着しました。

グループは3年前にできました。「さまざまな就業先で働く女性会員のつながりを」と西区センターが計画。会員に呼びかけたところ10人ほどの賛同者が手を挙げ、家事援助サービス班の班長だった斉藤さんらで立ち上げ。それまでは中部センターに洋服の端切れなどを活用して小物を作るグループ「ミシン工房」がありましたので、会員たちは和服に注目。話を聞いた多くの人から自宅に眠っている和服の提供があり、「WAFU…」活動がスタートしたのです。

1月下旬、西区竹の台の集会所で開かれた毎月1回の例会には約20人が顔を揃えました。用意された反物は会員が和服をほどいてきれいに洗ったもの。参加者は沢山の反物の中から自分が欲しい分だけの端切れをもらいます。みなさん「あれもいい」「これもいい」と柄選別に迷いながらも真剣。

この日の勉強は「お手玉」の作り方。みなさん小物づくりはもともと好きですがお手玉は初めての人も。3人のベテランが細かなところをていねいに指導します。斉藤さんも小さな端切れに糸を通しながら近くの人と教えたり教えられたり。他の人たちも「それはダメよ～」などといいながら手と口を活発に動かし、部屋は男性たちの集まりでは考えられなほど賑やか。斉藤さんは「家に閉じこもっているより、こうしてみなさんといるのが楽しい。作るレパートリーが広がるし、いっぱい教えられることがあります」と満足そうです。

これらのお手玉や会員が自宅で作った小物は“商品”になります。シルバー人材センターが参加する神戸まつりや西区健康福祉フェアなどのイベントに出店。売上は作った人の収入です。昨年秋の健康福祉フェアでは100円、200円といった格安のテーブルセンターやキンチャクなどが飛ぶように売れ、時間前に「閉店」しました。たとえ少ない収入でも売れたことは大きな喜び。会員の大きな励みになっています。



誠実な人柄で人への思いやりの強い斉藤さんは就業でも人気。看護師だった経験からホームヘルパーとして活躍、今も地区集会所で編み物のボランティア指導。シルバーでは個人宅の食事支度を長期間続けました。3年前から小学生女兒の通学同行の仕事が続いています。女兒の母親が仕事で行けない日は早朝に自宅を出て女兒の家へ。しばらく一緒に遊んだ後15分ほど歩いて学校に向かいます。斉藤さんの来るのがうれしい女兒とは登校途中会話を楽しんでいます。聞き役の斉藤さんは「すごくかわいい子。会う日が楽しみです」と仕事を忘れたおばあちゃんになっていました。

安全就業スローガンを募集します!

シルバー人材センターでは、会員の皆さんに安全に就業していただくように「安全就業基準」を策定するとともに、「シルバー人材ニュース」や「安全就業だより」で安全就業基準遵守の呼びかけを行っていますが、残念ながら事故件数は増加傾向にあります。

センターでは、安全就業スローガンを数年毎に見直しを行っております。今回は、下記のとおり、事故件数の減少に向けてのスローガンを募集します。

◎テーマ：「事故件数の減少に向けて！」

◎応募方法：官製はがきに、住所、氏名、会員番号、スローガンを明記し、下記の宛先まで送付してください。

※1人3点までで、オリジナル作品に限ります。なお、採用させていただいたスローガンの著作権はシルバー人材センターに帰属します。

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル10階
神戸市シルバー人材センター「安全就業スローガン」係まで

◎締め切り：平成27年6月30日（火）

採用者の方（若干名）には粗品（商品券）を進呈させていただきますので、奮ってご応募ください。

神戸市保健福祉局からのお知らせ

健康診断を受診し、健康度をチェックしましょう!

1. 神戸市国民健康保険特定健康診査

対象：神戸市国保に加入していて、平成27年度に40～75歳

受診方法：[指定医療機関](#)または各区拠点会場での[集団検診](#)を選んでお申込ください。

4月1日現在、神戸市国保加入中の方には、個別に「特定健康診査受診券」をお送りします。受診券の送付時期は**生まれ月**により異なります。

4月～6月（4月送付済） **7月～9月**（6月送付予定） **10月～12月**（8月送付予定）

1月～3月（11月送付予定） ※平成27年度に75歳になる方には4月に送付済です。

※神戸市国保以外の保険にご加入の方は、ご加入の医療保険者にお問い合わせください。

2. 後期高齢者健康診査 **無料**

対象：後期高齢者医療制度加入の方で生活習慣病の治療中でない方

受診方法：[指定医療機関](#)または各区拠点会場での[集団検診](#)のいずれかで受診できます。

(1) 指定医療機関での受診

事前に受診券の申込が必要です。申込期間は、4月1日～7月31日です。

(2) 集団検診での受診の場合は、受診券は不要です。通年で実施していますので、広報紙KOBE区民広報紙「保健だより」、神戸市ホームページ等で日時・会場を確認のうえ、直接健診実施機関にお申込ください。

お問い合わせ先 **神戸市けんしん案内センター**

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 電話 262-1163 ファックス 262-1165



神戸市シルバー人材センターが実施する 地域人づくり事業 5月「高齢者介護力アップ研修」**“調理”**

受講料/材料費
無料!!

回	日付	時間	研修内容
1	5月11日(月)	9:30~12:00	■開講式 ■オリエンテーション ■施設厨房での衛生管理 ■病院・介護施設での調理 【講師】兵庫県栄養士会
2	5月13日(水)	10:00~12:30	■調理実習 【講師】兵庫県栄養士会
3	5月19日(火)	10:00~12:30	■調理実習 【講師】食研究家 石井達也・石井裕加
4	5月22日(金)	10:00~12:30	■調理実習 【講師】兵庫県栄養士会
5	5月26日(火)	10:00~12:30	■調理実習 【講師】食研究家 石井達也・石井裕加
6	5月28日(木)	10:00~12:30	■調理実習 【講師】兵庫県栄養士会
7	5月29日(金)	10:00~12:30	■家事援助サービスの基本視点 【講師】介護福祉士
8	6月3日(水)	10:00~12:30	■調理実習 【講師】兵庫県栄養士会
		13:30~15:00	■シルバー人材センターについて ■生活支援サービス基盤整備事業について ■閉講式

●受講対象者/60歳以上で就業・ボランティア活動に意欲があり、全日程出席できる方

●参加定員/20名

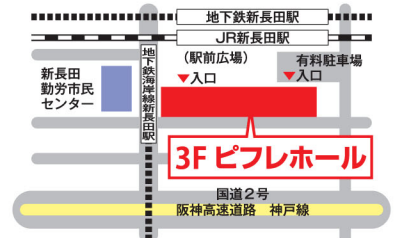
●会場/ピフレホール 3階(新長田勤労市民センター別館)

＜申込方法＞

締切：平成27年4月22日(水) ※当日消印有効

電話・ハガキ・封書・FAX・Eメールのいずれかの方法でお申込みください。

※申込み多数の場合は選考とし、選考結果を4月27日までに連絡致します。



＜申込み・問い合わせ先＞

公益財団法人 神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター/地域人づくり事業 担当まで

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 TEL 078-252-0316 FAX 078-241-9114

ホームページhttp://www.kobe-sjc@siren.ocn.jp Eメール kobe-sjc@siren.ocn.ne.jp

会員自主講座

～ともに学び、ともに歩む いきいきシルバーのためのサロン～

水墨画教室

<講師の先生のこと>

青峰美術院常任委員・審査員の山原完(おさむ)さん。日本画家・近藤昭氏に師事。過去の美術展では、文部科学大臣賞、兵庫県知事賞なども受賞されています。また、100号の大作『小春日』が、三宮の神戸市勤労会館2階ロビーに展示されています。



【小春日】



【松江城下】

<先生からひとこと>

教室は月2回開いています。受講者は現在13名です。初心の方には、蘭や竹などを手本にして練習を通して運筆の仕方や墨色の出し方を体得していただきます。作品ができるごとに楽しくなっていくと思います。次第に描く対象を広げてもらえれば幸いです。ご自身で用意するものは、硯、青墨、下敷き(白色フェルト)、絵皿(白色の皿)、筆(付立筆中)、筆洗い、古タオル(筆拭き用)ですが、こういったものを揃えれば良いかは、講座の初回にご説明いたします。

<受講者からひとこと>

とても丁寧にご指導いただき、感謝をしています。また、題材を求め風景の美しい場所や古刹などを散策するようになり、楽しみが広がりました。



今回、次の通り追加募集をいたします。

- 講師 / 山原 完(西部センター所属)
- 会場 / 中部センター3階 兵庫区東山町4丁目20番1号
- 日時 / 第2・4火曜日 13:30～15:30
- 追加募集 / 若干名(5名まで)
- 受講料 / 1回 1,000円(1か月2回分前納)
- 申し込み方法 / 先着順 電話078-252-0316 神戸市シルバー人材センター「水墨画教室」係

神戸市シルバー人材センターでは、技能習得と会員相互の親睦・交流のために、会員が講師を務める「自主講座」を開講しています。現在、中部センターを会場として、2つの講座が行われ、人気を博しています。1つは、平成24年9月に開講した「水墨画教室」、もう1つは、平成25年11月に開講した「洋裁教室」です。今回は、これら2つの講座について紹介させていただきます。

洋裁教室

<講師の先生のこと>

センターの紹介で洋裁学校講師の就業をしている岡部昭子さん。シルバー会員による洋裁グループ「ミシン工房」の代表でもあります。ミシン工房は、今年で結成11年。「神戸まつり」や「兵シ協シルバーフェスティバル」といった各種イベントに参加するなど、会員手作りの手芸品等を展示販売しています。

<先生からひとこと>

教室は月3回開いています。受講者は現在14名です。最初は、すぐできて楽しめる小物から始めて、リメイク、リフォーム、袋物、ベストへと講座を進めています。カリキュラム全体の概要はおおよ次の通りです。小物(ペットボトル入れなど)、サイズ直し(ズボン、ブラウス等、丈、巾、出入)、リメイク(古い洋服にひと手間加え、今風に)、袋物(ミニ袋、弁当袋、散歩の時のサイフ・ハンカチを入れても気軽にもてる便利な袋)、服飾(和布でベスト、ブラウス)など。洋裁教室で技術を磨き、ミシン工房の活動にも加わっていただければうれしいですね。

<受講者からひとこと>

テーマ毎に新しいことを一人一人丁寧に教わり、創る喜びを実感しています。仲間の皆様とも会える毎回の教室が待ち遠しくて仕方ありません。



今回、次の通り追加募集をいたします。

- 講師 / 岡部 昭子(中部センター所属)
- 会場 / 中部センター3階 兵庫区東山町4丁目20番1号
- 日時 / 第1・2・3木曜日 9:00～12:00又は13:00～16:00
- 追加募集 / 若干名(5名まで)
- 受講料 / 月3,500円
- 申し込み方法 / 先着順 電話078-252-0316 神戸市シルバー人材センター「洋裁教室」係



再開発で鈴蘭台駅前が 便利な街に生まれかわります



昭和3年ごろ開業当時の鈴蘭台駅（小部駅）
（写真提供 神戸電鉄株）

神戸電鉄の鈴蘭台駅は、昭和3年に神戸有馬電気鉄道が開通した際に小部駅として整備され間もなく一世紀になろうとしています。この時、北神戸のはずれにあった寒村・鈴蘭台地区の宅地開発が始まっています。戦前の鈴蘭台は関西の避暑地また高級住宅地として栄え大いに注目を浴びていました。現在、鈴蘭台駅は1日当たり約23,000人の乗降客がある北区の主要駅として重要な交通の要所になっています。しかし、鈴蘭台駅前を中心とした商業エリアは永年の小規模開発の繰り返しにより、特に駅前是非常に狭く、幹線道路も幅員が狭く利用し難くこの景観はとて北区の主要駅とは云えない状況です。ここに鈴蘭台駅前地区の再開発計画が推進されることとなり鈴蘭台駅とこれを中心にした駅前地域が大きく便利に生まれかわります。

【鈴蘭台駅前再開発計画のポイント】

1. 駅前に7階建ての再開発ビルを建設します。
2. 駅前広場は、歩行者空間を確保して路線バス・タクシー・乗用車の乗降スペースを設置します。
3. 駅前の道路（鈴蘭台幹線）は、現在の倍に拡幅整備します。

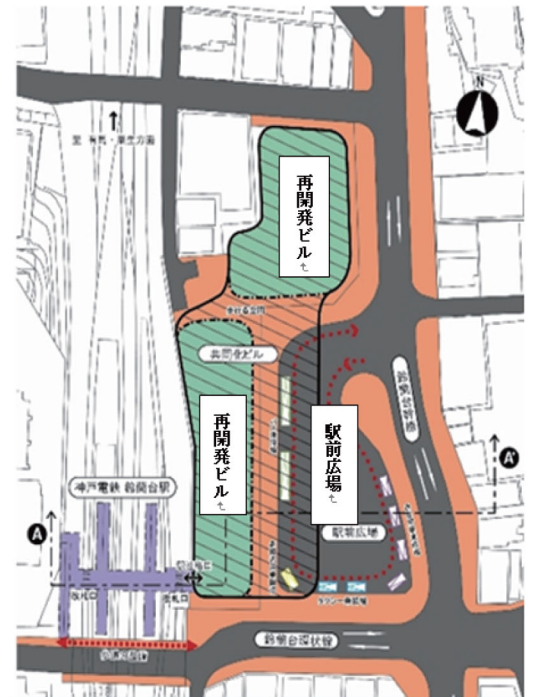
【再開発計画の期待される効果】

再開発計画により鈴蘭台駅前への人、車の流れはスムーズになり神戸電鉄鈴蘭台駅の改札口の改修と併せ駅へのアクセスは大幅に改善されます。

再開発ビルの4階から7階には区役所が移転してくることになっており、区民サービスも向上します。また、北側には駐輪場、駐車場を確保して鈴蘭台駅を使いやすいターミナルに変貌します。

【再開発計画のスケジュール(予定)】

- | | |
|----------|----------------|
| 平成27年3月 | 再開発ビル工事の着工 |
| 平成28年度春頃 | 再開発ビルの完成 |
| 〃 | 駅前広場・道路整備工事の着工 |



鈴蘭台駅前整備イメージ



再開発ビルのイメージ



駅と駅前広場のイメージ